



ずしし環境会議は逗子市が掲げる環境基本計画のなかの行動等指針にもとづき、ゴミ問題、二酸化炭素削減、自然・景観において逗子市の環境への働きかけとしてゴミ問題部会、二酸化炭素削減部会、まちなみと緑の創造部会の3つの部会に分かれて活動しています。

◇◇◇かんきょう講演会のお知らせ◇◇◇

今年のかんきょう講演会は話題になっている地球温暖化です。

年明けから企業のトップたちが口々に環境対策に言及するようになり、ヨーロッパをはじめとした世界各地で温暖化対策の声をあげる動きによろやく日本でもその雰囲気醸成されつつあります。

温暖化対策というと、壮大なテーマとを感じる方もいらっしゃるかもしれません。

そんななかで、わたしたち環境会議ではもっと身近で実践できる温暖化対策として家庭でできる対策というテーマで専門の講師のかたを招き、お話ししていただくことになりました。

かんきょう講演会

主催 逗子市、ずしし環境会議

家庭でできる地球温暖化対策

～化石燃料燃焼等による温度上昇とその影響～



日時：2020年2月15日（土）

14:00～16:00 13:30開場



会場：逗子文化プラザ 市民交流センター 2階会議室

定員：先着60名（申し込み不要）直接会場にお越しください。

講師紹介



高崎敬大氏 博士(工学)
(株)住環境計画研究所
取締役研究所長

慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科卒業
現所属の研究所において住宅・建築物に関わる省エネルギー技術・太陽光エネルギー利用技術等の調査・研究、コンサルティング業務に従事して現職に。

国内外で、地球温暖化が影響とみられる異常気象が頻発しています。

この現象は 2015 年頃からアメリカをはじめ世界各地で起こり、日本にも波及し、今後ますます深刻化していきます。

地球にやさしい暮らし方をいっそう深め、適応していくための、地球温暖化対策を学びます。

お問い合わせ

逗子市役所環境都市課
TEL 046-873-1111(内線 457)

* 手話通訳・要約筆記、託児をご希望のかたは、2月5日(水)までに市役所環境都市課にご連絡ください



まちなみと緑の創造部会 ニュース

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

◇◇◇観察会のお知らせ◇◇◇

年も新たに、令和2年目となりました。今年もいきもの観察会を実施します。時期は確定したいフェイスブックや広報ずしなどでお知らせ致します。逗子には思ったよりもたくさんの動植物たちが暮らしていますよ。ぜひご参加ください。

時期	観察会の種類
4月	春の植物観察会
5月～6月	磯のさかな観察会
6月～7月	田越川さかな観察会
7月～8月	昆虫観察会1
8月	河口のさかな観察会
9月	昆虫観察会2
10月	秋の植物観察会



◇◇◇まんげきょうワークショップ°《トモイクフェスティバル》◇◇◇

毎年開催されているトモイクフェスティバルが今年も3月21日～22日に行われます。まちなみと緑の創造部会では今回もまんげきょうのワークショップを実施いたします。サクラガイをはじめとした自然物をおり交ぜた具材で、まんげきょうをいちから作成していただきます。お子さんはもちろん、大人のかたもどうぞ。



日 時: 3月22日(日) 10:00～16:00
 場 所: 市民交流センター1階 第一会議室
 定 員: 60名
 時 間: 30分程度
 料 金: 400円

◇◇◇ボランティア募集！◇◇◇

身近にあって、知っているようで知らないことも多い逗子の自然。「まちなみと緑の創造部会」では、逗子の自然を伝える「自然観察会」「名越緑地の湿地手入れ」「展示・講演イベント」といった活動を手伝ってくださる方を募集しています。様子を見てみたい、たまになら、いやいやどうせやるならどっぴりと、自然に興味がある、なんか時間が余っているから、実は自然への知識に自信がある、人に伝えるって面白そう、などなど動機は何でもOKです！見学も大歓迎です！ご連絡をお待ちしています！




■□■□■小冊子“逗子の水辺の生きものたち” 発行しました■□■□■

「調べて分かった逗子の水辺の生きものたち」
 -14年間の観察会で見てきたこと-



市民参加による魚観察会の記録。逗子の田越川水系と海岸の磯にはどんな生きものがいるのか。その環境は今どのような問題を抱えているのか。豊富な写真を交えてわかり易く40Pの小冊子にまとめました。

現在市内の学校や図書館（貸出可）、博物館などで多くの皆さんに見て頂いております。また下記でも見ることが出来ます。

ずしし環境会議メンバーズのホームページ <https://zushikankyo.jimdofree.com/>
 まちなみと緑の創造部会コーナー参照

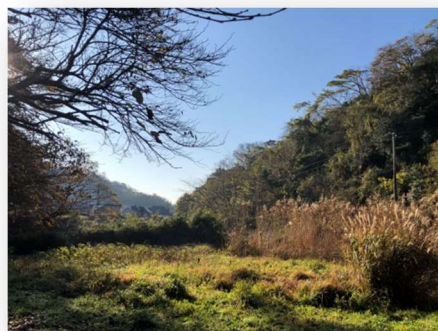


田越川水系の観察会で確認した魚類は 61 種で、他に研究者たちが確認した 84 種を加えると全体で 105種の魚類が確認されました。

◇◇◇名越緑地の湿地整備作業◇◇◇

名越 9 丁目に逗子で最後に残された谷戸があります。わたしたちは名越緑地里山の会にも所属しており、田んぼや畑の作業以外の湿地部分の作業を担当しています。たくさんの動植物が暮らせるように湿地の草刈りや水路の整備をして、生きものにとってよりよい環境づくりをしています。湿地整備の作業に興味があるかた、是非わたしたちと一緒に作業してみませんか？





ゴミ問題部会 ニュース

ゴミ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

◇◇◇「エコ広場ずし」の危機を助けて!! ◇◇◇

エコ広場ずしは 2012 年の 10 月、逗子市のごみ減量と資源化を目的として、市と逗子ゼロ・ウェイストの会との協同事業として発足しました。

最初は市役所横にある市有地に市がプレハブを建てて活動場所を提供するという話もありましたが、結局市役所 1F ホールでの発足になりました。その後 2015 年 4 月には現在の市民交流センター 1F に移り通算 7 年半が経過しようとしています。



当初は市民が衣類、生活雑貨のリユースの場として、週 1 トンもの持ち込み量があり、それに相当する持ち帰り利用者もありました。現在 1 日に 100 人以上の方の利用があり、持ち込み、持ち帰りとも無料で行っています。

活動場所だけ市が提供し、運営はすべて市民ボランティアで、ウィークデー毎日開催している希少な活動です。

その活動場所を 2 月末日をもって退去するよう市長から通告され、この活動は現在危機に瀕しています。次なる活動場所を求めて行動している日々です。

資源の有限性、最近の気候変動を考えると、私たちのエコ広場の活動は発展こそすれ、消滅させるべきではありません。何とか継続できるようお力をして下さる方はおりませんか!!

◇◇◇「鎌倉市・逗子市・葉山町 ごみ処理広域化実施計画」◇◇◇

本来、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って、各市町村が処理することになっていますが、処理コストや効率等で各市町村毎で行うのではなく、行政ブロック毎に廃棄物処理を行う事になっています。(神奈川県では 12 ブロック) 逗子市は葉山町、鎌倉市と同じブロックに入り、ごみ処理広域化の実施計画が進められています。

現在ごみ処理施設として

1. 鎌倉市今泉クリーンセンター（粗大ごみ処理施設）
2. 鎌倉市笛田リサイクルセンター（資源化施設）
3. 鎌倉市名越クリーンセンター（焼却・粗大ごみ処理施設）
4. 逗子環境クリーンセンター（焼却・粗大ごみ処理・資源化施設）
5. 葉山町クリーンセンター（粗大ごみ処理施設）



でそれぞれ処理を行っています。これを、焼却ごみに関しては、鎌倉市・葉山町とも逗子環境クリーンセンターで焼却処分、家庭系生ごみは鎌倉市・逗子市とも葉山町の施設整備を行い、処理・梱包容器プラスチックは葉山町と一緒に逗子市の処理施設で処理を開始します（鎌倉市は民間業者へ委託処理）。

生ごみの資源化に関しては、逗子市は葉山町クリーンセンターにて行い、鎌倉市は今泉クリーンセンターにて行う事になっています。最終処分場に関して、鎌倉市、葉山町共に埋め立て可能な最終処分場は無く、焼却残さは市外の民間業者に委託していますが、唯一最終処分場を有する逗子市も最終処分場の残余容量が少なくなってきたり、今後は他市への搬出も考えねばならなくなる恐れが多分にあります。一部で焼却後の残さは溶融固化して資源化するとも言われていますが、私は信用していません。



鎌倉市の場合、ペットボトル、梱包容器プラスチック、新聞・段ボール・雑誌・ボール紙等のリサイクル品まで民間事業者に委託して、資源化していると公表しています。逗子市・葉山町は資源回収業者が回収して資源化しています。

鎌倉市・逗子市・葉山町のごみの総排出量は、年々減少傾向が見られます。しかし、ごみの処理経費は県の平均を大きく上回りトン当たり県の平均額 37,167 円に対して鎌倉市 53,557 円、逗子市 61,559 円、葉山町 69,962 円（平成 29 年度）となっています。

人口 1 人当たりの処理経費は鎌倉市 18,573 円、逗子市 15,508 円、葉山町 21,139 円に対して県平均では 10,576 円（平成 29 年度）となっています。年毎の経費を比較すると過去 5 年間殆ど変化が見られませので廃棄物の仕分けや減量化は、努力目標まで来ているのかなと思われます。

地域の特性として、鎌倉市は逗子市や葉山町とは比較にならないほど観光人口が多く、鎌倉市が約 92% を占めています。この観光客が排出するごみの量も決して無視出来ません。今後、ますますの廃棄物の分別化が必要になってくると思います。廃棄物の広域化処理に関して、新たな施設の建設や廃棄物の資源化等を考えると量的なメリットはあると思われますが、焼却施設や圧縮施設周辺に住む住民への健康被害等を含めた近隣住民への説明と承諾が必要になると考えます。

私見ですが、ごみの広域化処理は環境重視よりも、経済重視で県が音頭を取って進めているようにしか感じません。可能であれば、できるだけ小規模で処理を行う事が、一番環境負荷を与えない方法ですが、これをできるだけ大きく金を掛けた施設で処理を行おうというのがごみの広域化処理なのです。

20年位前まで、横浜市は、ごみはすべて完全に焼却するのが一番良い方法だと高額で能率が良い？焼却炉を建設し一切再資源化目的の分別もせずに焼却していました。その焼却灰が広大な谷戸を埋め立てました。埋め立てられた谷戸にはさすが、住宅の建築は許可していませんが、老人養護施設の建設は許可され建設されています。

しかし、残渣を埋め立てた場所にはいまだにガス抜き管が何本も建てられています。谷戸から流れている小川から PCB が検出され、横浜市はこの小川の水を浄化すべき施設を建設しました。

逗子市にそのような資金を出す事が出来るのでしょうか？逗子環境クリーンセンターで逗子市以外の鎌倉市、葉山市の廃棄物を焼却して、その残渣を埋め立て処分するようですが、横浜市の二の舞を踏まないように願うだけです。





二酸化炭素削減部会 ニュース

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

◇◇◇市内中学校で地球温暖化について出前授業実施◇◇◇

二酸化炭素削減部会として、2020/1/16 に、市内中学校で 2 年生 2 クラスに、「地球温暖化の現状と対策」と題した出前授業を実施しました。

授業のねらいは、

- ① 地球温暖化を自分達の問題として考えてもらう
- ② 温暖化対策として、省エネと再生可能エネルギーへの理解を深めてもらう
- ③ これからの地球温暖化に対する自分自身の行動を、考えてもらう。

です。



初めの挨拶



温暖化の現状と対策について

授業は、1 校時目に PPT(スライド)による説明を行い、2 校時目に、太陽光発電(受光角度変化模擬)・手回し発電機による発電体験・白熱電球と LED 電球の消費電力比較・太陽電池+燃料電池モデルについて実験・体験を行いました。



太陽電池と燃料電池の実験



ソーラーパネルの受光角度変化模擬実験

授業終了後、省エネチェックシートによる行動チェックとアンケート記入をしてもらいました。その結果、

- ✓ 地球温暖化について考えるきっかけができた
- ✓ 思っているよりも大幅に地球温暖化は進んでいて、他人事ではないなと改めて思いました
- ✓ 今まで知らなかった気温上昇の理由が分かって楽しかったです
- ✓ 少しの省エネでこれからの未来が変わるから、自分でできることは省エネしようと思った

等の感想があり、温暖化防止対策としての省エネ活動の理解が得られ、初期の目的は達成されました。

□■□■これから地球温暖化について逗子市内小中学校の出前授業予定■□■□

出前授業予定

学校種別	2月	3月
◆市内小学校	12日(水)	
5年生 <u>4クラス</u>	13日(木)	
◆市内中学校	25日(火)	
3年生 <u>5クラス</u>	26日(水)	
	27日(木)	
◆市内中学校		3日(火)
3年生 <u>3クラス</u>		
計	3校	5日
		1日

